

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公表番号】特表2009-543793(P2009-543793A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519602(P2009-519602)

【国際特許分類】

C 0 7 C 17/389 (2006.01)

B 0 1 J 20/18 (2006.01)

B 0 1 D 53/02 (2006.01)

B 0 1 D 15/00 (2006.01)

B 0 1 J 20/20 (2006.01)

C 0 7 C 19/16 (2006.01)

C 0 7 C 21/18 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 17/389

B 0 1 J 20/18 B

B 0 1 D 53/02 Z

B 0 1 D 15/00 K

B 0 1 J 20/20 B

C 0 7 C 19/16

C 0 7 C 21/18

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月21日(2010.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トリフルオロメタンと他の物質との混合物からトリフルオロメタン量を減少させるプロセスであって、前記混合物と、有効孔径がトリフルオロメタンの少なくとも一部を優先的に吸着するが、その他の物質は吸着しないサイズであるモレキュラーシーブとを接触させることを含む、前記プロセス。

【請求項 2】

前記モレキュラーシーブは、その直径がその他の物質の有効分子直径よりも小さい孔径を有する、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 3】

前記プロセスは、トリフルオロメタンとトリフルオロヨードメタンとの混合物からトリフルオロメタンを分離する、請求項 1 に記載のプロセス。

【請求項 4】

トリフルオロメタンとトリフルオロヨードメタンとの混合物から分離される前記トリフルオロメタンは、トリフルオロヨードメタンを含む冷媒混合物からインサイチューで製造される、請求項 3 に記載のプロセス。

【請求項 5】

混合物から減少したトリフルオロメタン量は、減少後に約 10 ppm 以下のトリフルオ

ロメタンを含む混合物となる量である、請求項 1 に記載のプロセス。